

## 「全鍍連」 2018年4月号 いきいき地域

東京都鍍金工業組合 石崎 利一（墨田硬質クローム鍍金(有) 代表取締役社長）

### 「組合広報」



全国鍍金工業組合連合会の会員の皆様、いつもお世話になっています。

私は現在、全鍍連においては情報・国際委員会に所属し東京組合では広報委員会と東京公害防止組合を担当しています。

突然ですが皆さんの会社の景気は如何ですか。更に、それぞれの地域の景気は如何ですか。東京はいろいろな種類のめっき業が混在している為に当然の事として良い業種もあれば悪い業種も有ります。ですので、東京は景気が良いとも言えず悪いともいえない状況です。しかし、統計を見ていると全体としては良い方向に向いているように思えます。

次に東京組合が抱える大きな問題は事業継承の問題です。仕事があり黒字経営なのに後継者の問題で廃業せざるを得ない事業所があるという現実です。ただし、この問題は税制等の規制問題も絡んでくるため簡単には解決できない問題だと思います。更には・・・と問題を挙げているときが無いのでこの辺にさせていただきます。

ところで、「全鍍連誌」と同様に東京組合も「組合広報誌」を毎月発行しています。内容は多岐にわたっていて、理事長日誌、委員会報告、理事会報告、各支部の行事等です。更に「お気に入りの散歩道」、「つま恋坂」のように広報委員会のメンバーが交代で執筆しているものも有ります。当然の事として我々広報委員会のメンバーは専門家ではありませんのでスザキ企画の須崎社長に全面的にご協力をいただきながら作成しております。また、広報委員会は毎月発行している広報紙に対し責任を明確にするため全体の会議は隔月、担当副理事長、正副委員長による会議を間の月に隔月で開催しています。ですので、広報紙は広報委員会委員の血と汗と涙の結晶といっても過言ではありません。

一昨年末には600号記念誌発行し昨年より表紙のデザインを一新しました。実は、表紙の色も毎年のラッキーカラーの中から選択していますが、今年はオレンジ色を採用しています。これも、何色かある今年のラッキーカラーの中から採用しました。もし、機会があればご一読頂ければ東京組合の広報委員会がいかに頑張っているかをご確認いただけます。

最後になりますが全国鍍金工業組合連合会会員の皆様の益々のご発展とご多幸を祈念して筆を置かせて頂きます。